



もと
うさ本ファミリー

楽しく子育て!

～子育て支援コーナー通信～

司書のオススメ本

～お金の使い方を教えよう～

<企画展示コーナーから選んでみました>

突然ですが、お子さんにはどういう基準で、いくらお小遣いをあげていますか?

わが家では、小学校5年生の息子に夫が「給料日に500円」かつ、「お手伝いやほめられるようなことをした時に1回50円」という約束をしています。

お金に無頓着な性格の息子は4年生になるまで、もらったお金はすべて貯金箱。ある時、食玩にハマって自分で店まで買いに行くようになり、たちまち貯金箱は空っぽに。それからというもの、息子は使いすぎを警戒するあまり、お年玉などお札で臨時収入があると「貯金しといて」と私に渡してくるようになりました。

今回は、お金の使い方をどう教えようかな、と思ったときに役立つ本をご紹介します。

新しい本が
入りました。

()内の数字は
棚の番号です

『働く母さんお助けバイブル』

ももせいづみ／著
主婦の友社／刊
2010.4
(支援1-1)

『親子でつくるカンタンかわいいおままごと』

MaMa n／著
産業編集センター／刊
2010.3
(支援2-1)

『英国式非完璧子育て術』

リチャード・テンプラー／著
ディスカヴァー・トゥエンティワン／刊
2010.3
(支援3-3)

『子どもが勉強好きになる50の言葉』

江藤真規／著
PHP研究所／刊
2010.4
(支援4-3)

<おススメbook>

『かしこい子どもを育てるおこづかいトレーニング』

岩下桂子／著
学習研究社／刊

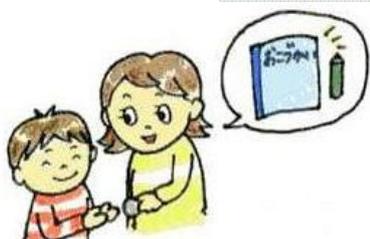


『6歳からのお金入門』

八木陽子／著
ダイヤモンド社／刊

『12歳までにはかならず教えたいお金のこと』

たけやきみこ／著
かんき出版／刊



このコーナーでは、子育て中の方に役立つテーマを選び、実際に図書館で司書が探し出した資料や、それをどうやって調べたか、調査して感じたこと、後日談などをご紹介します。

児童資料室のカウンターにいと、よくこんな質問を受けます。「以前読んだけど、書名も作者もわからない。探してくれませんか?」「これくらいの大きさで、赤い表紙だった」「お兄ちゃんと妹が出てきた」などなど・・・。

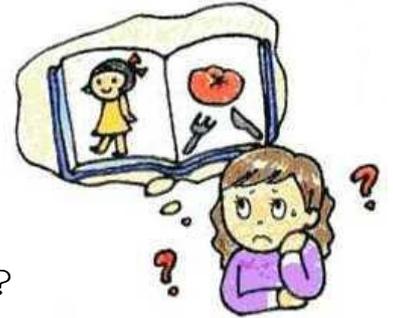
タイトルの一部分でも覚えていたら探しやすいのですが、判らない場合が多いです。そんな時はまず、あらすじを話してもらいます。

タイトルが英語だ・・・

ある日、1人の女性が1枚の紙を手にレファレンス・カウンターに案内されてきました。紙の一番上には「I will not never eat a tomato.」。

英語だ(私の苦手な)。「トマトを食べたくない」と言っている(多分)。

幸いにも、2行目からは日本語であらすじが書かれていました。それを読んだ途端、心底ほっとしました。「あれだ!あの絵本だ!」でも・・・?



タイトルが思い出せない・・・



何年か前に読んで「面白いな」と思い、子どもに読もうと買っておいたあの絵本。表紙もあらすじも浮かぶのに、**タイトルが思い出せない**のです。家に戻ればすぐに判るのに、ここは図書館。

とりあえず、インターネットで検索してみました。「好き嫌い」「妹」「絵本」と入力すると、幸いにもトップに表示されたのが、あの絵本でした。

『ぜったいたべないからね』

ローレン・チャイルド/作 木坂涼/訳 フレーベル館/刊

あらすじで探すのに便利なのが、国際子ども図書館の「児童書総合目録」。検索条件入力画面に「あらすじ」という項目があります。

検索キーワードがポイント。

あらすじから探す時は、キーワード選びが大事です。左の「児童書総合目録」で検索してみると、トマトの嫌いな妹「ローラ」と「食べない」を入力するとヒットします。でも、「トマト」「食べない」ではヒットしませんでした。

来月号は3周年特集号です。

子育て支援コーナーを開設したのは平成19年6月16日。早いもので、今年の6月16日に3周年を迎えます。人間の子どもなら、3歳にもなればおしゃべりもかけっこも達者になり、保育所や幼稚園では年少さん。次号は、コーナーの3年間を振り返る特集号の予定です。

編集後記

ここ1年くらいの娘の口癖は「母ちゃんはええなあ。テレビに出られて」。NHKのローカル番組で時々、絵本の紹介をしているのです。「でもね、準備が大変だし、緊張するんだよ」と答えても5歳の娘は「?」。